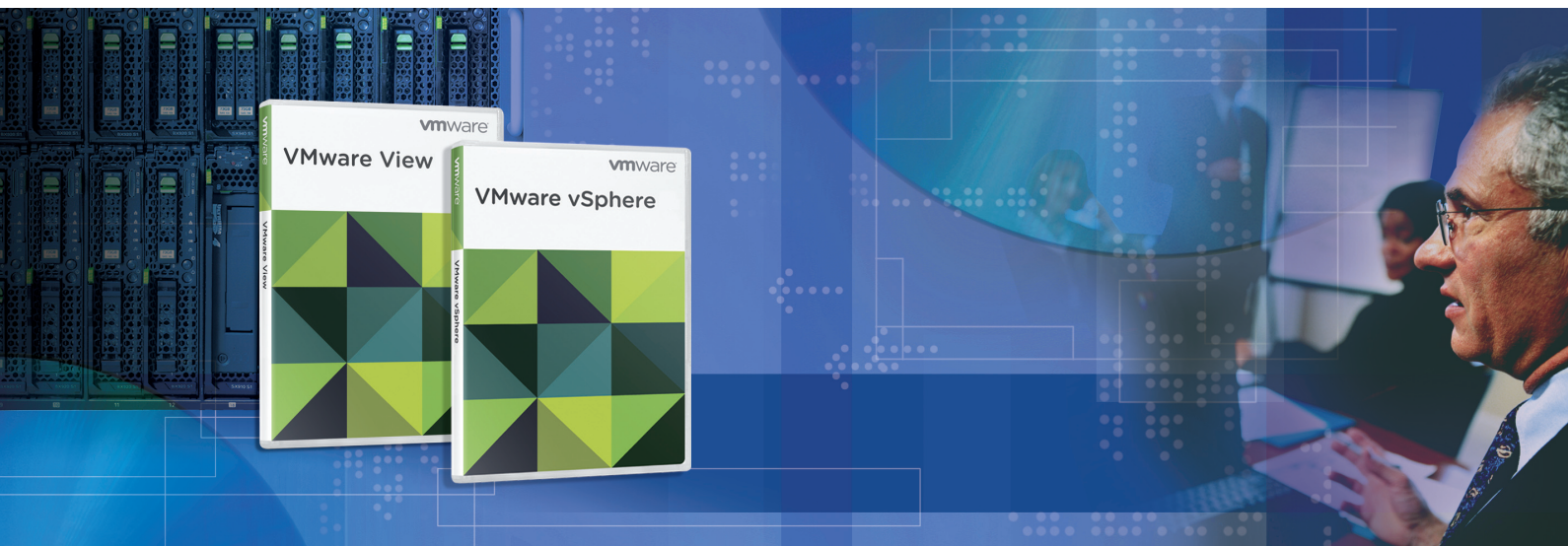


富士通 PCサーバ プライマジー

PRIMERGY

VMware on PRIMERGY



PCサーバPRIMERGYと仮想化ソフトウェア VMware vSphere / VMware Viewで
強力かつ効率的なサーバ/クライアントの仮想化を実現

VMware Virtualization Forum 2009

富士通が Server Business Leadership Awardを受賞



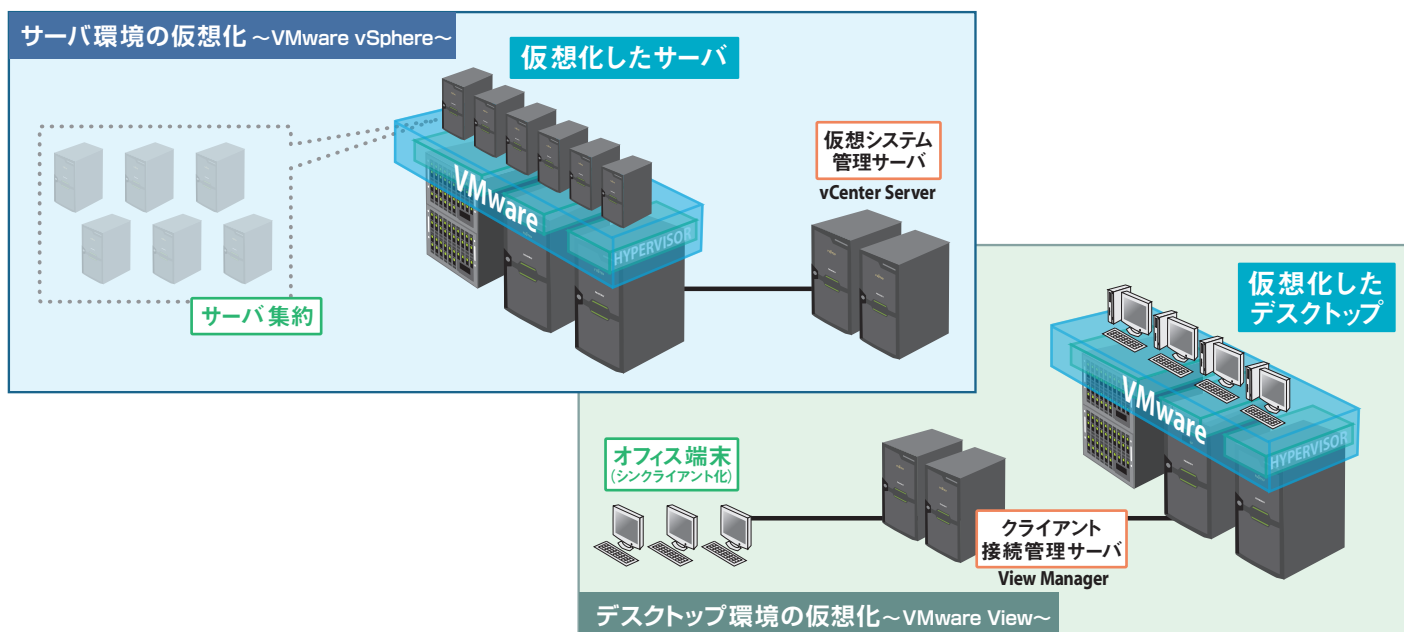
— WINNER —

SERVER BUSINESS LEADERSHIP

仮想化システム導入効果へのお客様評価は高まっています。 TCO削減、ITガバナンス実現、業務部門サービス向上を お約束する、^{プライマジー}VMware on PRIMERGY。

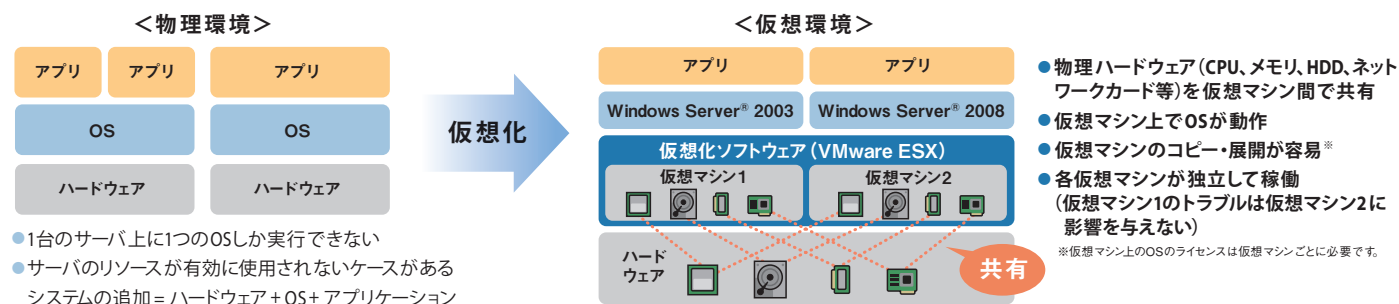
富士通のPCサーバPRIMERGYと仮想化ソフトウェアVMware®により、オフィスのデスクトップ環境からサーバシステムまで、お客様のさまざまな仮想化ニーズにお応えし、効率よく仮想化統合を実現します。

富士通では、仮想システムを構築するハードウェア製品、仮想化ソフトウェアに加え、物理/仮想の統合運用を実現する管理ソフトウェアやサービスなど、お客様の仮想化システムを総合的に支えるラインナップにより、システムの柔軟性の向上、運用の効率化から安心・安全の提供まで、幅広い仮想化ソリューションを提供します。



サーバの仮想化技術とは

サーバの仮想化技術とは、1台の物理サーバのリソースを分割し、仮想化したサーバを複数動作させる技術です。この技術により、1台のサーバ上に複数のシステムを同時に実行することができます。同じサーバ上で動作している仮想的なサーバに割り当てられたリソースは独立しているため、互いに影響を与えることはありません。

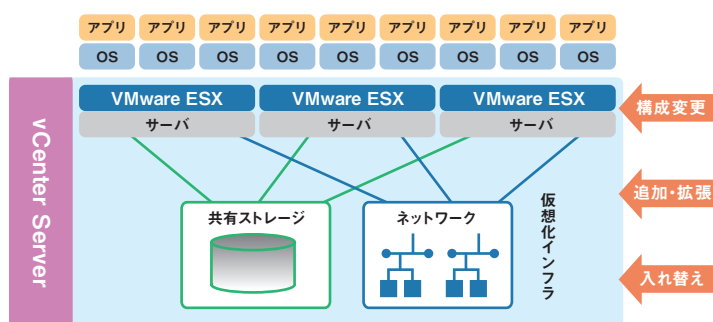


物理サーバで構成されているシステムよりも、仮想化したサーバはハードウェアリソースの有効活用、ハードウェアとOS更新サイクルの分離、仮想サーバの作成／変更／削除が迅速に自由におこなえるなどのメリットがあります。

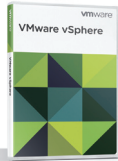
VMware vSphereとは

サーバ1台から始められる、サーバ仮想化ソフトウェアです。1台のサーバ仮想化では、万が一のトラブルに少なからず影響を受けますが、複数のサーバで相互に補完しあうことで、可用性を高めることができます。VMware vSphere™では、基本的なサーバ仮想化機能に加え、複数のサーバ環境でも、サーバ構成の追加拡張や運用を容易にする機能を提供します。

システムの柔軟性を高め、フレキシブルな仮想化インフラの運用を可能にし、企業内クラウド構築の基盤となるPCサーバ仮想化プラットフォームを提供します。また物理環境と仮想環境が混在した場合には、サーバ管理ソフトウェア ServerView Resource Coordinator VEを組み合わせることにより、統一管理も可能です。



VMware vSphere ラインナップ



VMware vSphereは、あらゆる規模のIT環境に対応し、充実したラインナップを提供しています。各エディションはそれぞれ異なるユーザーおよびIT環境の特定のニーズに対応できるよう最適化されています。

中～大規模システム／データセンター向け

VMware vSphere 4 Standard

1台のサーバで複数の業務を動作させる基本利用から、複数台で可用性を高めたサーバ集約まで活用できるパッケージです。また、VMware vSphere 4 Standardにバックアップを司るコンポーネント機能のData Recoveryを加えて、セットにしたパッケージStandard Plus Data Recoveryもご用意しています。

VMware vSphere 4 Advanced

複数のESXサーバと共有ストレージでリソースプールを構成し、仮想マシンの運用性や仮想化されたPCサーバインフラの運用管理作業の効率化を実現するパッケージです。また、Advanced 6CPU分ライセンスにvCenter Server 4 Foundation 1本をセットにしたパッケージAdvanced Acceleration Kitもご用意しています。

VMware vSphere 4 Enterprise

消費電力の最適化やビジネス優先順位に基づいた仮想マシンの動的割り当てなど、ダウンタイム、データ保護、およびリソース管理のための主要機能を含んだパッケージです。

VMware vSphere 4 Enterprise Plus

企業・団体レベルで導入するPCサーバを仮想マシンで標準化し、統一したPCサーバの導入から運用管理までライフサイクル全体の効率化を実現するパッケージです。VMware vSphere 4のフル機能を含み、共有ストレージやネットワークを含む仮想化インフラの動的構成変更などフレキシブルな運用管理を可能にします。また、Enterprise Plus 6CPU分または8CPU分ライセンスに、vCenter Server 4 Standard 1本をセットにしたパッケージEnterprise Plus Acceleration Kitもご用意しています。

小規模部門／店舗利用向け

VMware vSphere 4 Essentials

VMware vSphere 4 Essentials Plus

小規模な仮想環境向けに特化したエディション。1つのシステム内で利用できるESXサーバの台数を3台までに限定し、PCサーバ仮想化の基本機能をお手軽にご利用いただけるパッケージです。小規模な部門システムでの導入や、初めてPCサーバ仮想化を導入されるお客様に最適です。

推奨システム コンポーネント名称	エディション	中～大規模システム／データセンター向け				小規模部門／店舗利用向け	
		Standard	Advanced	Enterprise	Enterprise Plus	Essentials	Essentials Plus
VMware ESX 4.0		●	●	●	●	●	●
VMware vStorage Thin Provisioning		●	●	●	●	●	●
VMware HA ^{*1}		●	●	●	●	—	●
VMware Data Recovery ^{*1}		—	●	●	●	—	●
VMware VMotion ^{*1}		—	●	●	●	—	—
VMware DRS/DPM ^{*1}		—	—	●	●	—	—
VMware Storage VMotion ^{*1}		—	—	●	●	—	—
VMware vNetwork Distributed Switch ^{*1}		—	—	—	●	—	—
VMware Host Profiles ^{*1}		—	—	—	●	—	—
VMware vCenter Server for Essentials ^{*2}		—	—	—	—	●	●

*1:本コンポーネントを利用するためには、別売オプション製品のVMware vCenter Server 4 が必要です(Essentialsを除く)。

*2:本製品はEssentials/Essentials Plus専用コンポーネントです。Essentials/Essentials Plus以外のエディションでは利用できません。

主なコンポーネント

● VMware HA

1つのVMware ESXが異常停止した場合、別のVMware ESX上で自動的に仮想マシンを再起動させる機能。最低限の停止時間で業務を継続することができます。

● VMware Data Recovery

小規模環境の仮想マシンで、シンプルで費用対効果に優れた、エージェントを必要としないバックアップとリカバリが利用できます。

● VMware VMotion

稼働中の仮想マシンを停止させることなく、仮想マシンを別のVMware ESX上に移動させたり、仮想マシンの使用するディスクファイルを別のストレージに移行する機能。ハードウェア保守やシステム拡張等が必要な場合でも、業務を停めることなくメンテナンス可能です。

● VMware vStorage Thin Provisioning

仮想マシンに対して仮想ディスクを割り当てる際にあらかじめ割り当てる容量を確保するのではなく、実際に利用しているデータの容量だけ確保し、必要に応じて拡張できる機能です。この機能を使用することで、ストレージの利用率が向上します。

● VMware DRS

同一ネットワーク内にあるVMware ESXの負荷状況を考慮して、仮想マシンを動作させるのに最適なVMware ESXを自動検知する機能。VMware ESX間での負荷が自動的に平準化されるため、管理者の負担を軽減します。

● VMware vNetwork Distributed Switch

従来VMware ESX単位で分かれていた仮想スイッチを、複数のVMware ESXで横断した一つの仮想スイッチとして構成できます。ネットワーク設定や運用を集中管理できます。

オプション製品

● VMware vCenter Server 4

VMware ESXや仮想マシンの設定、監視等を一元的に管理し、管理者の負荷を大幅に軽減します。VMotion/DRS/HA機能を利用する場合には、本製品が必要となります。また、本製品のオプション機能として、物理マシンから仮想マシン、仮想マシンから仮想マシンへの変換プロセスを自動化するVMware Converterを提供します。本製品は、以下2つのエディションが用意されています。

VMware vCenter Server 4 Standard

多数台サーバの管理を容易にするLinked Modeを装備したエディションです。300台までのESXサーバを管理できます。

VMware vCenter Server 4 Foundation

3台までのESXサーバを管理できる小規模環境向けのエディションです。

VMware vSphere 動作環境

認定サーバ(*)	PRIMERGY TX200 S5(SAS) / TX300 S5(SAS) / RX200 S5 / RX300 S5(SAS) / RX600 S4 / BX620 S5 / BX920 S1
認定ストレージ	ETERNUS DX series / ETERNUS NR1000F

*:サポート可能な最新VMwareの版数については、弊社HP (<http://primerserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>)のVMware ESXサポート版数一覧表を参照下さい。

SupportDeskにおいてサポート可能なゲストOS(*)	● Windows Server® 2008 Standard (SPなし/SP2) (32bit/64bit) ● Windows Server® 2008 Enterprise (SPなし/SP2) (32bit/64bit) ● Windows Server® 2003, Standard Edition (SPなし/SP1/SP2) ● Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (SPなし/SP2) ● Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition (SPなし/SP2) ● Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition (SPなし/SP2) ● Windows® 2000 Server (SP3/SP4) ● Windows NT® 4.0 Server (SP6a) ● Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86) ● Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T) ● Windows® XP Professional (SP1/SP2/SP3) ● Windows® XP Professional x64 Edition, SP2 ● Windows Vista® Enterprise (SPなし/SP1/SP2) (32bit/64bit) ● Windows Vista® Home Basic (SPなし/SP1/SP2) (32bit/64bit) ● Windows Vista® Home Premium (SPなし/SP1/SP2) (32bit/64bit) ● Windows Vista® Ultimate (SPなし/SP1/SP2) (32bit/64bit)
	● Windows Server® 2008 Datacenter (SPなし/SP2) (64bit) ● Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (SPなし/SP2) ● Windows Server® 2003, Enterprise Edition (SPなし/SP1/SP2) ● Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition (SPなし/SP2) ● Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T) ● Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86) ● Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

*:ご利用の際はゲストOS毎に富士通と別途ご契約が必要になります。ゲストOSのサポート契約が無い場合、ゲストOSで発生したトラブルのサポートは行いません。

VMware vSphereの導入により、オフィスのサーバ運用を快適化。

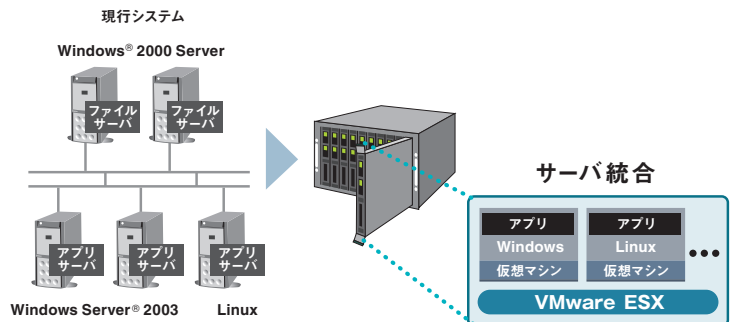
仮想化システムに最適な、VMware社の認定を受けた高性能PCサーバPRIMERGYと、VMware vSphereの仮想化機能、ServerView Resource Coordinator VEのサーバ管理機能により、それぞれの元サーバの独立性は確保されたまま、サーバ管理コストを削減し、リソースを効率よく利用できます。

複数プラットフォーム環境のサーバ統合／集約

- 課題**
- 部門毎の業務要件に任せてPCサーバを導入していった結果、多種多様なサーバを抱え、運用管理が煩雑。
 - 利用部門の要求に対して、タイムリーに新しいシステムを導入するのは難しい。

VMware vSphereのサーバ仮想化機能により、プラットフォームが異なる複数のサーバを仮想環境に集約！

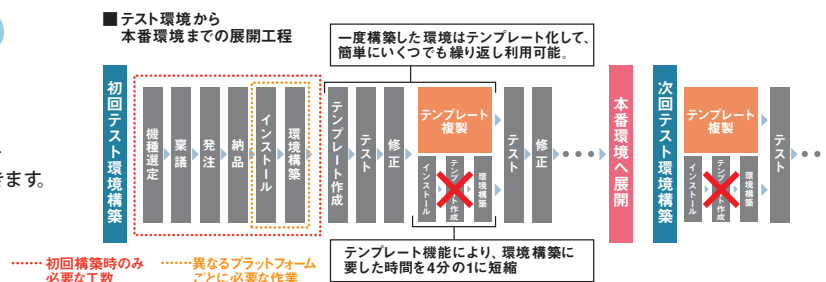
- 異なるOSなどで構成される複数のサーバ環境を仮想化集約することで、サーバ環境の標準化を実現し、管理コストを削減します。
- 仮想化したサーバは、ファイルをコピーするようなイメージで仮想マシンを作成したり、削除したり、状態を保存することが簡単にでき、利用者へのタイムリーなサーバ提供が可能です(テンプレート機能)。



VMware vSphereのテンプレート機能 適用例

VMware vSphereのテンプレート機能により、テスト環境の再構築が容易に。

- テスト環境を仮想化し、テンプレートに保存された環境を再利用することで、いつでも簡単にテスト作業を開始できます。
- 種類の異なる複数のOSを同時に稼働できるため、マルチプラットフォーム環境でも、効率的にテストを実施できます。

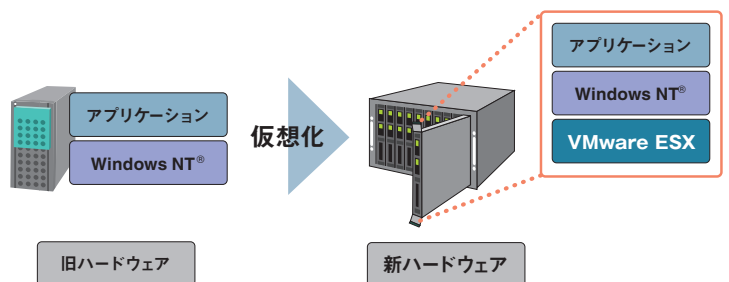


旧サーバ資産のスムーズな移行／継続利用

- 課題**
- 耐用年数が過ぎたサーバを不安を抱えたまま運用しており、管理リスクが増長。
 - 旧資産の移行を検討しているが、業務アプリケーションを新OSに対応させるには時間がかかる。

VMware vSphereのサーバ仮想化機能により、旧資産をそのまま新しいハードウェアで運用！

- 最新のハードウェアで既存のOSおよびソフトウェア環境をそのまま活用できるため、システムの使い勝手を維持することができます。
- 最新のハードウェアで旧OS資産を一時的に使用することで、時間をかけて慎重にシステムを移行できます。

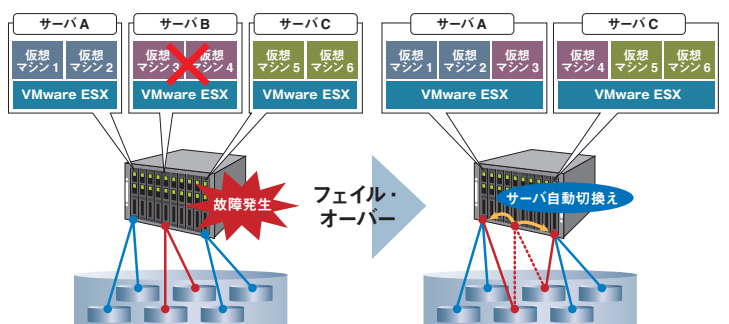


サーバ仮想化環境における業務継続性の向上

- 課題**
- サーバ集約した環境での方がハードウェアのハードウェアに備えて、耐障害性を高めたい。

VMware vSphereのHA機能により業務の停止時間を最小化！

- 各ESXサーバ間で相互監視を行い、物理サーバの故障に伴うESXサーバのダウンを自動的に検出します。
- サーバダウン時には、正常なESXサーバ上に仮想マシンを自動で再起動することで、コールドスタンバイ相当の可用性を提供します。
- さらに、ServerView Resource Coordinator VEを活用することにより物理サーバの障害予兆を検出。正常な物理サーバへ仮想サーバを自動的に移動することで、システムダウンを未然に防止します。



VMware vSphereの多様な仮想化機能により、効果的なTCO削減と運用管理の最適化を実現。

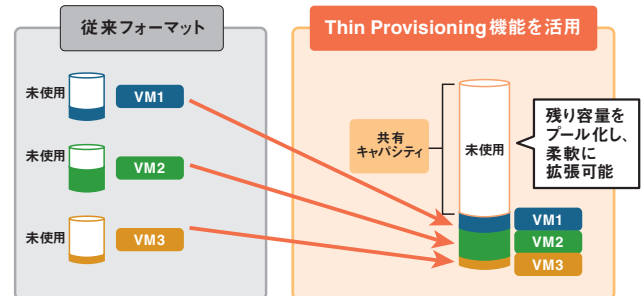
複数サーバの仮想化もスムーズに構築し、リソースを柔軟に管理するVMware vSphereの各種機能と、高い信頼性を誇るPCサーバPRIMERGY、物理/仮想サーバの統合運用を実現するServerView Resource Coordinator VEを活用することにより、お客様のデータセンターシステム運用に最適な仮想化環境を提供します。

ディスクリソース管理の向上

- 課題** ●将来のデータ量増加を想定して仮想マシンごとに容量を確保すると、大量の空きディスクが発生し、未使用領域が無駄になる。

VMware vSphereのThin Provisioning 機能を活用することでディスク資源を柔軟に提供！

- 使用するだけのストレージ容量を確保し、残りの容量をプール化することで、ストレージ容量を有効に活用します。
- 物理的にディスク容量が不足した場合は、当社ストレージETERNUSの活性拡張機能で業務を止めずに、ディスクの追加が可能です。

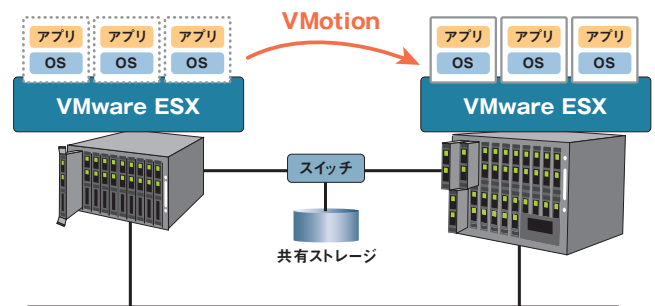


サーバ運用の強化

- 課題** ●日中に業務を停めることはできないので、保守作業を夜間や休日に行うのは作業コストがかかる。
●仮想マシン用のサーバを増設する際に、CPU世代の互換性を考慮する必要がある。

VMware vSphereのVMotion 機能によりハードウェアを意識しないサーバ運用を実現！

- 仮想マシンを稼働させたまま、別の物理サーバへ移動ができるので、平日の日中でもハードウェアの電源を停止して保守作業ができるようになり、管理者の負担を大きく軽減します。
- 世代が異なるCPU間でもVMotionが適用できるEnhanced VMotionにより、ハードウェアの切り替えを伴う中長期的なサーバ増設にも対応します。

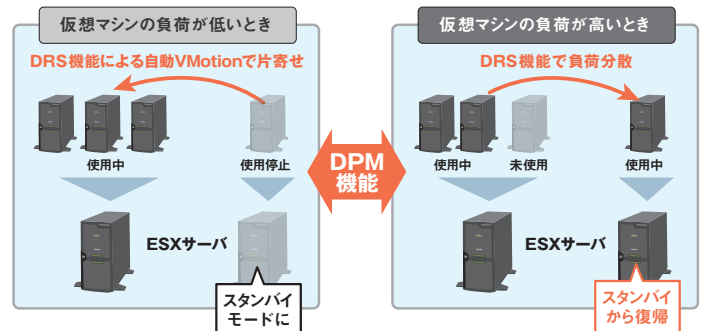


サーバの電源管理の自動化

- 課題** ●仮想マシンのシステム負荷状況をシステム管理者が監視して最適化を実施するのは大変。

VMware vSphereのDRS / DPM 機能により、仮想マシンを最適配置し消費電力を削減！

- 仮想マシンの負荷状況に応じて仮想マシンの片寄せを行い、動作していないESXサーバを自動的にスタンバイモードにすることで、消費電力を抑えます。
- 仮想マシンの再配置や省電力の管理を自動化することで、システムの負荷だけでなく管理者の負荷も軽減します。
- さらに、ServerView Resource Coordinator VEとブレードサーバを組み合わせればブレードシャシの電源制御も可能になります。



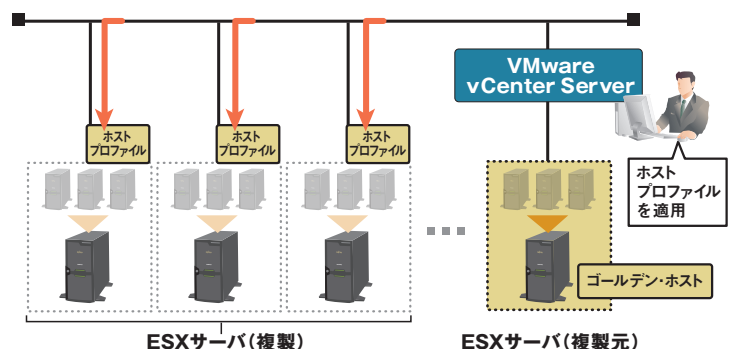
※DRS機能: 各仮想マシンが十分なリソースを得られるようにグループ化し、複数の物理サーバの中で、仮想マシンを自動的に再配置する機能

ESXサーバ大量展開の簡素化

- 課題** ●大規模仮想サーバシステムを構築する際に、同一ESXサーバの環境を1つずつ作成するのは大変。

VMware vSphereのホスト・プロファイル 機能により、スピーディーにESXサーバの追加構築が可能！

- ESXサーバの設定情報をエクスポート/インポートできます。特定のESXサーバの設定情報をテンプレート化することで、構築作業を簡素化し、ESXサーバの追加構築にも素早く対応します。

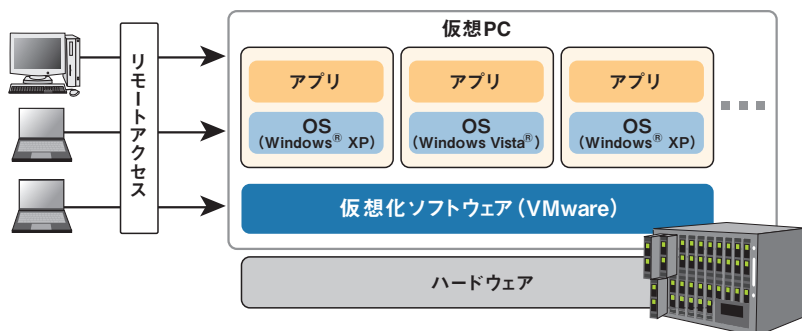


VMware Viewによりクライアントの仮想化を実現。 セキュリティと利便性を向上するシンクライアントソリューション。

VMwareの仮想化技術を用いてデスクトップ環境をシンクライアント化し、管理コストを削減しながらクライアントのセキュリティと利便性を両立させます。

クライアントの仮想化技術(仮想PC方式)とは

物理サーバ上に、業務の実行環境(OS、アプリケーション、データ)を仮想化し、ユーザーごとに仮想PCとして提供する技術です。ユーザーは、サーバ上に構築されている仮想PCにリモートアクセスして物理環境と同様にOS、アプリケーションを利用できます。

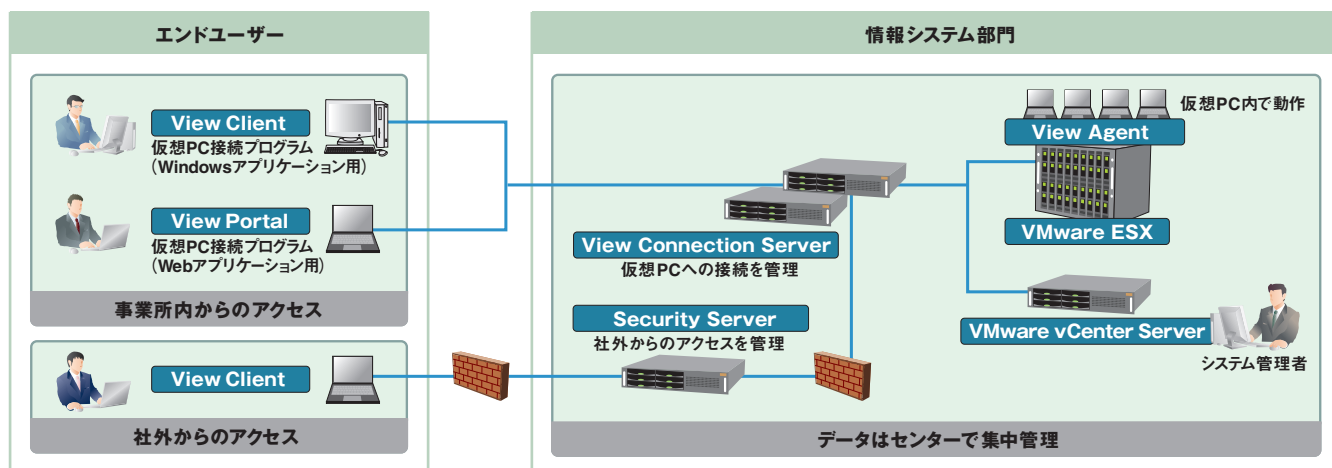


- クライアントにデータを持たないため、情報漏えい対策を実現しセキュリティを強化します。
- いつでも、どこからでも、ユーザー自身のクライアント環境を利用できます。
- クライアント環境をサーバで集約管理するため、クライアント運用管理の利便性が向上し、管理コストの削減を実現します。
- 異なるクライアントOSやアプリケーションの環境にも柔軟に適用します。

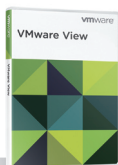
VMware Viewとは

仮想PC方式によるクライアントの仮想化を実現するソフトウェアです。

VMware View™を導入することで、確かな実績のあるヴィエムウェア社のサーバ仮想化技術と、クライアント仮想化技術の組み合わせにより、管理コストを削減しながらクライアントセキュリティと利便性の向上を実現します。



VMware View ラインナップ



VMware Viewは、クライアント仮想化を実現する
2つのエディションから選択いただけるようになっています。

VMware View Enterprise

シンクライアント環境を構築するための基本機能
View Manager 3を包含し、クライアントの仮想化を実現する
最小構成のパッケージです。

主なコンポーネント

● View Manager

仮想PCと管理サーバ間のセッションを実現し、仮想PCの管理を行います。View Connection Server、Security Server、View Agent、View Client、View Portalとよばれる5つのソフトウェアコンポーネントからなります。

● View Composer

システムイメージを仮想PC間で共有する機能。仮想PCのシステムディスク容量の削減*や、一括でのパッチ適用/アップデートが可能です。
*削減効果はお客様環境により異なります。

● ThinApp

アプリケーションを仮想化して、クライアント環境に左右されことなく動作させる機能*。個々のクライアントへのアプリケーションインストールが不要になります。
*全てのアプリケーションの仮想化及び、仮想化したアプリケーションの動作を保証するものではありません。本機能の利用にあたっては、事前にお客様環境での動作検証を行ってください。

VMware View Premier

VMware View 3 Enterpriseに、View Composer、ThinAppなどの
上位機能を標準装備したパッケージです。
仮想PCの管理利便性をさらに向上します。

VMwareのスムーズな運用を支援する当社ミドルウェア/サービス。

物理・仮想サーバのかんたん運用を実現する ServerView Resource Coordinator VE

物理・仮想サーバが統一的に扱え、シンプルで効率的なサーバ運用を実現します。

●仮想環境の動的変化を見える化

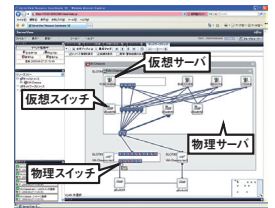
物理サーバと仮想サーバのマッピングやネットワークの接続状況が一つのツールでわかりやすく表示されます。現状の構成が自動的に反映されるため、常に最新状況をすばやく把握できます。

●グリーンIT運用を支援

サーバの電源ON/OFF、リブートを物理・仮想サーバ共通に操作できます。さらに、当社統合運用管理ソフトウェアSystemwalkerと組み合わせることで、省電力運用を自動化することができます。



簡易ビュー画面



ネットワークマップの表示画面

サーバ監視ソフトウェア ServerView Operations Manager

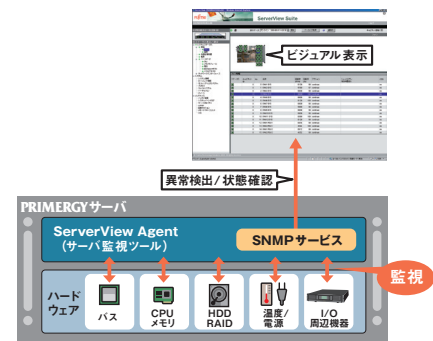
PCサーバPRIMERGYに標準添付されているハードウェア監視ソフトウェアです。監視/検出したハードウェアの故障をコンソールで表示し、管理者にメールでタイムリーに通知することで、サーバの早期復旧とシステムの安定運用を支援します。

●予兆監視と確実な故障検出

サーバを構成するハードディスクやメモリ、プロセッサ、システムボードに至る約300~400箇所の部品について、故障に至る前の予兆を監視するとともに、故障部分を特定します。さらに、サーバの周辺/内部温度、電源変動などの環境状況も監視することで、システム運用に高い信頼性を保持します。サーバ単体の監視だけでなく、複数サーバの一括監視も可能です。

●他システムとの容易な連携

サーバ監視ツールに共通規格準拠のインターフェースを使うことで、当社統合運用管理ソフトウェアSystemwalkerなど、さまざまな運用管理ソフトウェアとの連携により、サーバだけでなくネットワーク/ストレージ機器を含めたシステム全体の運用監視が可能です。



ストレージ基盤ソフトウェア ETERNUS SF Storage Cruiser

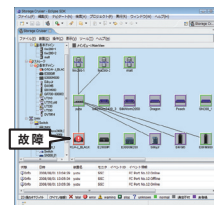
ストレージ資源の一元管理を可能にし、ストレージの運用管理の簡素化を実現します。

●SAN構成の見える化

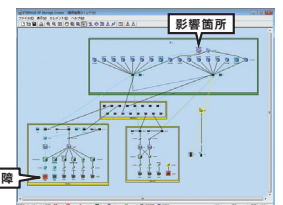
SAN(Storage Area Network)構成機器の物理結線、論理結線の関係が視覚的に把握できます。

●障害、性能ボトルネックの迅速な把握

SANを構成する機器の故障箇所を迅速に特定できます。また、I/O負荷の監視や性能ボトルネックの特定に役立ちます。



構成管理画面



関係管理ウィンドウ画面

富士通主要ミドルウェアのVMwareへの取り組み

富士通では、VMware製品による仮想環境上でもお客様の業務運用を円滑に進められるよう、VMware上での主要ミドルウェア製品の動作をサポートしています。



※ミドルウェア製品のサポート契約締結を前提に、VMware環境のゲストOS上における動作をサポートいたします（VMware環境が物理ハードウェア環境と互換性のある機能を提供している範囲で動作をサポートいたします）。

保守・運用支援サービス SupportDesk

製品購入から1年間、VMware製品をサポートするSupportDesk Standardがバンドルされています。グイエムウェア社との緊密な連携と富士通がこれまでに蓄積した運用ノウハウにより、安心のサポートをご提供します。

●お客様専用ホームページSupportDesk-Webによる情報提供

修正情報や技術情報、セキュリティ情報などの提供を行います。SupportDesk-Webにより、いつでも最新情報を閲覧することができます。お客様自身での問題解決が可能となり、トラブルの未然防止を図れます。

●グイエムウェア製品のバージョンアップグレード

グイエムウェア製品のバージョンアップグレードの権利が与えられます。SupportDesk契約期間内であればいつでも、最新のバージョンを利用できます。

●専門スタッフによるQ&A対応/問題解決支援

電話・FAX・SupportDesk-Web・E-mailによりVMware製品に関するトラブル/Ｑ＆Ａに、富士通サポートセンター（OSC*）の専門スタッフが対応。万一のトラブル時には、現象からの原因解析や回避策の提示などを行い、お客様の疑問・トラブルの早期解決を支援します。*OSC:One-stop Solution Center



【サービス時間帯】 ●月曜日～金曜日 8時30分～19時
（祝日および12月30日～1月3日を除く）
●24時間365日

【サービス期間】 VMware製品ご購入から1年間

※お客様登録完了後、サービス提供開始となります。
※VMware製品以外のハードウェア/OS/ミドルウェアのサポート、またVMware製品の2年目以降のサポートにつきましては、別途ご契約が必要です。

システムスタートアップサービス

PRIMERGYにVMware vSphere 4を導入して仮想マシンを構築するサービスです。お客様のニーズに合わせた仮想マシンの構築、仮想マシン上へのゲストOSの導入手順の提示などをおこない、お客様システムの早期立ち上げをサポートいたします。

データセンターアウトソーシングサービス

高度なセキュリティと堅牢なファシリティを備えた富士通システムセンター経由で、VMware vSphere 4を搭載したPRIMERGYの運用をおこなうサービスです。24時間365日、お客様のニーズに合わせた、高品質な運用、導入後の利用状況のレポートなど、ライフサイクル全般をサポートいたします。

国内最大級の検証センター Platform Solution Center

Platform Solution Centerは、富士通のIT基盤TRIOLE（トリオーレ）*を構成する最新のプラットフォーム製品を揃えた国内最大規模の総合検証施設です。300人の専門技術者が常駐し、VMwareを含むシステムのコンサルティングから実機による検証・性能実証までワンストップでサポート。お客様のビジネスに最適なシステムの構築を支援します。

*TRIOLE：システムのライフサイクルを通して、お客様ビジネスの「機敏性」「効率性」「継続性」を支える富士通のIT基盤です。

Platform Solution Center



Platform Solution Center

VMware on PRIMERGY

ヴァイエムウェア社認定PCサーバ「PRIMERGY」※1

PCサーバPRIMERGYはインテル® マルチプロセッサ対応の高性能CPUを搭載し、優れたパフォーマンスを発揮する高性能サーバです。高信頼を実現する充実した機能を備えており、VMwareに対応した標準添付ソフトウェア ServerViewまたはServerView Operations Managerを使用することで、サーバの状態をグラフィカルな画面で監視することができ、トラブルの未然防止／早期発見を支援します。2WAYラックマウントタイプRX300 S5では、VMware vSphere 4バンドルタイプを用意しております。ヴァイエムウェア社認定ハードウェアPRIMERGYで構築したシステムで、安心して仮想化システムをご利用いただくことができます。

タワー/ラック兼用型

TX200 S5

(SASモデル)

TX300 S5

(SASモデル)

ラック型

RX200 S5

RX300 S5 (SASモデル)

RX600 S4

ブレード

BX620 S5

BX920 S1

※1: サポート可能なVMwareの最新版数については、弊社HP (http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/) のVMware ESXサポート版数一覧表を参照下さい。

PRIMERGY RX300 S5 VMware vSphere 4 バンドルタイプ

ヴァイエムウェア社認定の2WAYラック型PCサーバPRIMERGY RX300 S5にVMware vSphere 4 Standardのライセンスと、VMware製品の運用をサポートするSupportDesk Standard (1年間平日サポート)をバンドルした製品です。導入実績豊富なラック型で、仮想化システム導入を簡単に行的ないとお考えのお客様に最適です。別売オプション製品^{(*)12)~(*)16)}を利用して、上位エディション (Advanced/Enterprise Plus)へのアップグレードも可能です。

PRIMERGY RX300 S5 (3.5インチSASモデル)	
VMware vSphere 4 バンドルタイプ	
タイプ名称	PGR3052AX2
型名	インテル® Xeon® プロセッサ X5570 (2.93GHz) (*)1 / E5540 (2.53GHz) (*)1 / L5530 (2.40GHz) (*)1 / E5520 (2.26GHz) (*)1 / L5520 (2.26GHz) (*)1 / L5506 (2.13GHz) (*)1 / E5504 (2GHz) (*)1 / E5502 (1.86GHz)
CPU	3次キャッシュメモリ 8MB (インテル® Xeon® プロセッサ X5570 / E5540 / L5530 / E5520 / L5520) / 4MB (インテル® Xeon® プロセッサ L5506 / E5504 / E5502)
	プロセッサ数 (コア数) 1 (4コア) (最大2 (8コア)) (インテル® Xeon® プロセッサ X5570 / E5540 / L5530 / E5520 / L5520 / L5506 / E5504) / 1 (2コア) (最大2 (4コア)) (インテル® Xeon® プロセッサ L5506 / E5504 / E5502)
	メモリバス 1333MHz (インテル® Xeon® プロセッサ X5570) (*)2 / 1066MHz (インテル® Xeon® プロセッサ E5540 / L5530 / E5520 / L5520) / 800MHz (インテル® Xeon® プロセッサ L5506 / E5504 / E5502)
	QuickPath Interconnect (QPI) 6.4GT/s (インテル® Xeon® プロセッサ X5570) / 5.86GT/s (インテル® Xeon® プロセッサ E5540 / L5530 / E5520 / L5520) / 4.8GT/s (インテル® Xeon® プロセッサ L5506 / E5504 / E5502)
メインメモリ	標準 2GB (2GB DDR3 1066 Registered DIMM X1, PC3-8500) (SDDC対応) (*)20
	最大 (*)3 (*)4 1CPU構成時: 72GB (8GB DDR3 1066 Registered DIMM X9, PC3-8500) / 48GB (8GB DDR3 1333 Registered DIMM X6, PC3-10600) 2CPU構成時: 144GB (8GB DDR3 1066 Registered DIMM X18, PC3-8500) / 48GB (8GB DDR3 1333 Registered DIMM X6, PC3-10600)
画面制御機能	
グラフィック表示機能 (*)5	
内蔵 3.5インチベイHDD (SAS)	
空ベイ数	
搭載可能ユニット	
HDD標準 (*)6	
HDD最大 (*)6	
内蔵バックアップ装置	
内蔵DVDドライブユニットベイ	
拡張バス	
スロット	
ディスプレイ	
SASインターフェース	
外付けFDD	
ネットワークインターフェース (オンボード)	
インターフェース	
キーボード / マウス	
ハードウェア監視	
リモートサービス機能	
電源	
冗長ファン	
エネルギー消費効率 (*)10	
外形寸法 [W X D X H (mm)]	
質量	
騒音値	
使用環境	
インストールOS	
バンドルOS	
標準保証	

- (*)1 標準搭載されているCPU (インテル® Xeon® プロセッサ E5502 (1.86GHz)) を交換する必要があります。
- (*)2 DDR3 1333 Registered DIMM搭載時のみ、1333MHzで動作いたします。
- (*)3 OSにより使用可能なメモリ容量が異なります。
- (*)4 物理CPU個につき、メモリDIMMを最低1枚搭載する必要があります。(カスタムメイドにてCPU増設した場合は、メモリもカスタムメイドにて最低1枚手配必須)
- (*)5 実際に表示可能な解像度/色数は、接続されるディスプレイの機能、およびOSにより異なります。
- (*)6 すべての内蔵ハードディスクはRAIDで構成する必要があります。
- (*)7 複数台システムに最低1台、別途FDDユニット(USB) (FMD-51S)を手配する必要があります。
- (*)8 VMwareを動作させるために必要なドライバはVMware®に添付されています。ServerView Operations Manager & ServerView Agent、RAID監視ツールは本モデルに添付の「PRIMERGYドキュメント&ツールCD for VMware/バンドルタイプ」用として使用ください。
- (*)9 AC200V (VINE L6-15)を使用する場合、電源ユニット1台毎に電源ケーブル (AC200V対応) (PG-CBLPU04)を手配する必要があります。
- (*)10 AC200V (IEC 60320-C14)を使用する場合、電源ユニット1台毎に電源ケーブル (AC200V対応) (PG-CBLPU05)を手配する必要があります。
- (*)11 エネルギー消費効率と省エネ率を算出する方法として測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能値で除したものです。但し、インテル® Xeon® プロセッサ X5570/E5540/L5530/E5520/L5520/L5506/E5504については、省エネ法の規制対象外であり、エネルギー消費効率値は参考値です。
- (*)12 標準バンドルされているOSは基本VMware OS交換機構 (PGBSUVM7)により、VMware vSphere™ 4 Standard (2CPUライセンス付き) バンドルへの交換ができます。
- (*)13 標準バンドルされているOSは基本VMware OS交換機構 (PGBSUVM8)により、VMware vSphere™ 4 Advanced (1CPUライセンス付き) バンドルへの交換ができます。
- (*)14 標準バンドルされているOSは基本VMware OS交換機構 (PGBSUVM10)により、VMware vSphere™ 4 Enterprise Plus (1CPUライセンス付き) バンドルへの交換ができます。
- (*)15 標準バンドルされているOSは基本VMware OS交換機構 (PGBSUVM11)により、VMware vSphere™ 4 Enterprise Plus (2CPUライセンス付き) バンドルへの交換ができます。
- (*)16 サポート可能なVMwareの版数については、弊社HP (http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/)内のVMware ESXサポート版数一覧表を参照下さい。
- (*)17 VMwareの対応時期/サポート可能なVMwareの版数については、弊社HP (http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/)内のVMware ESXサポート版数一覧表を参照下さい。
- (*)18 インストールメディアはバンドルされておらず、別途ご購入ください。
- (*)19 バンドルタイプには1年間のソフトウェア (月曜日～金曜日 8時30分～19時 祝日もおよび12月30日～1月3日を除く)がバンドルされています。
- (*)20 2年目以降のソフトウェアサポートを継続するには、VMware®ライセンス製品向「SupportDesk 契約」を別途手配してください。
- (*)21 DDR3 1066 Registered DIMMは、1CPU構成時メモリ7枚以上、2CPU構成時メモリ13枚以上搭載する場合、実際に動作可能なクロックは800MHzとなります。

環境への取組み

■「グリーン製品」の提供

当社の厳しい環境評価基準 (省資源化、リサイクル設計、化学物質含有/使用規制、省エネルギー、環境情報の提供など)をクリアした地球に優しい、環境への負荷の少ない「グリーン製品」として提供しています。

富士通の環境についての取り組みの詳細は、富士通ホームページ「環境活動」をご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

■グリーン購入法への対応

インテル® Xeon® プロセッサ E5502を搭載したモデルは、2001年4月から施行のグリーン購入法 (国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)に基づき調達の2009年度基本方針 (判断の基準)に対応しています。

■省エネルギー基準達成率

インテル® Xeon® プロセッサ E5502を搭載したモデルは、省エネ法 (エネルギーの合理化に関する法律)で定められた、2007年度までに達成しなければならぬ目標基準値を500%以上達成した製品です。

省エネルギー基準達成率の【AAA】は500%以上であることを示します。

■マニュアルの電子化

自然保護、環境への配慮より、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ(PDF)で提供しています。

ミックス品
FSC認証材は環境にやさしい森林からの製品グループです。
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001217
© 1996 Forest Stewardship Council

PRINTED WITH SOY INK®

Flower

安全に関するご注意

ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。

火災、故障、感電などの原因となることがあります。表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品に選択することができないCD/DVDドライブはレーザーを使用しています。【クラス1レーザー製品】

PRIMERGYについてのお問い合わせ、ご用命は、下記にお申し付けください。

●インターネット情報ページ

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

●SupportDesk紹介ページ

「製品サポート」

<http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

■このカタログは、2010年1月現在のものです。改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。 ■印刷の都合によりカタログの商品写真と実物では色彩が異なる場合があります。 ■このカタログには、森林認証紙、大豆インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。 CG4401-12 2010年2月K